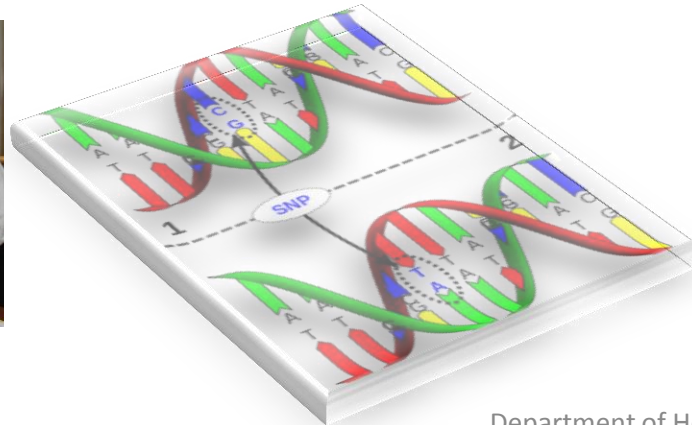


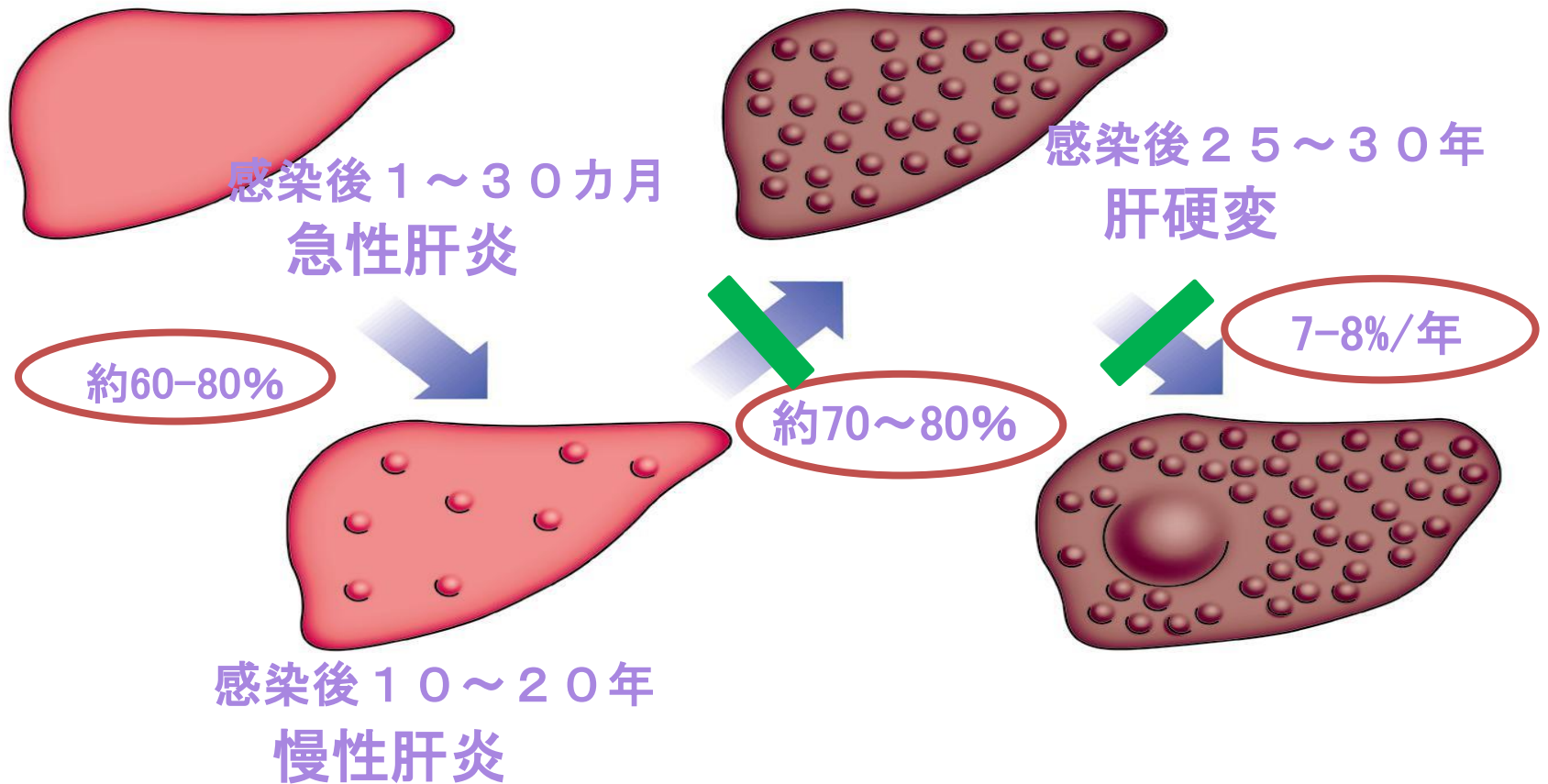
10月9日(木)18:00~
島根大学医学部附属病院関連病院長会議
出雲ロイヤルホテル

今年度承認された先進医療の 取り組みについて

インターフェロン感受性遺伝子(IL28B領域) の遺伝子多型(SNPs)



C型肝炎ウイルス感染後の自然経過



C型肝炎治療の分類

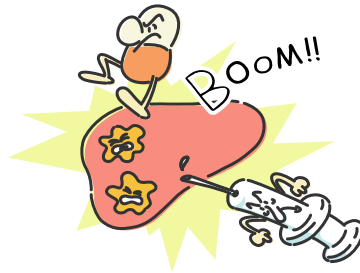
止まれ

50

原因療法

C型肝炎ウイルスを体内から排除して完全治癒を目指す

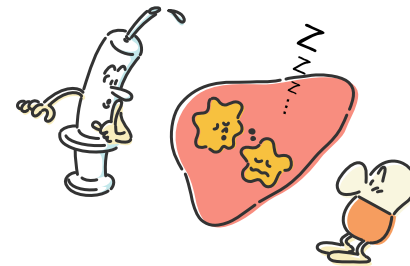
- インターフェロン(注射)
- ペグインターフェロン(注射)
- リバビリン(内服)
- C型肝炎ウイルス直接阻害薬(内服)



対症療法(肝庇護療法)

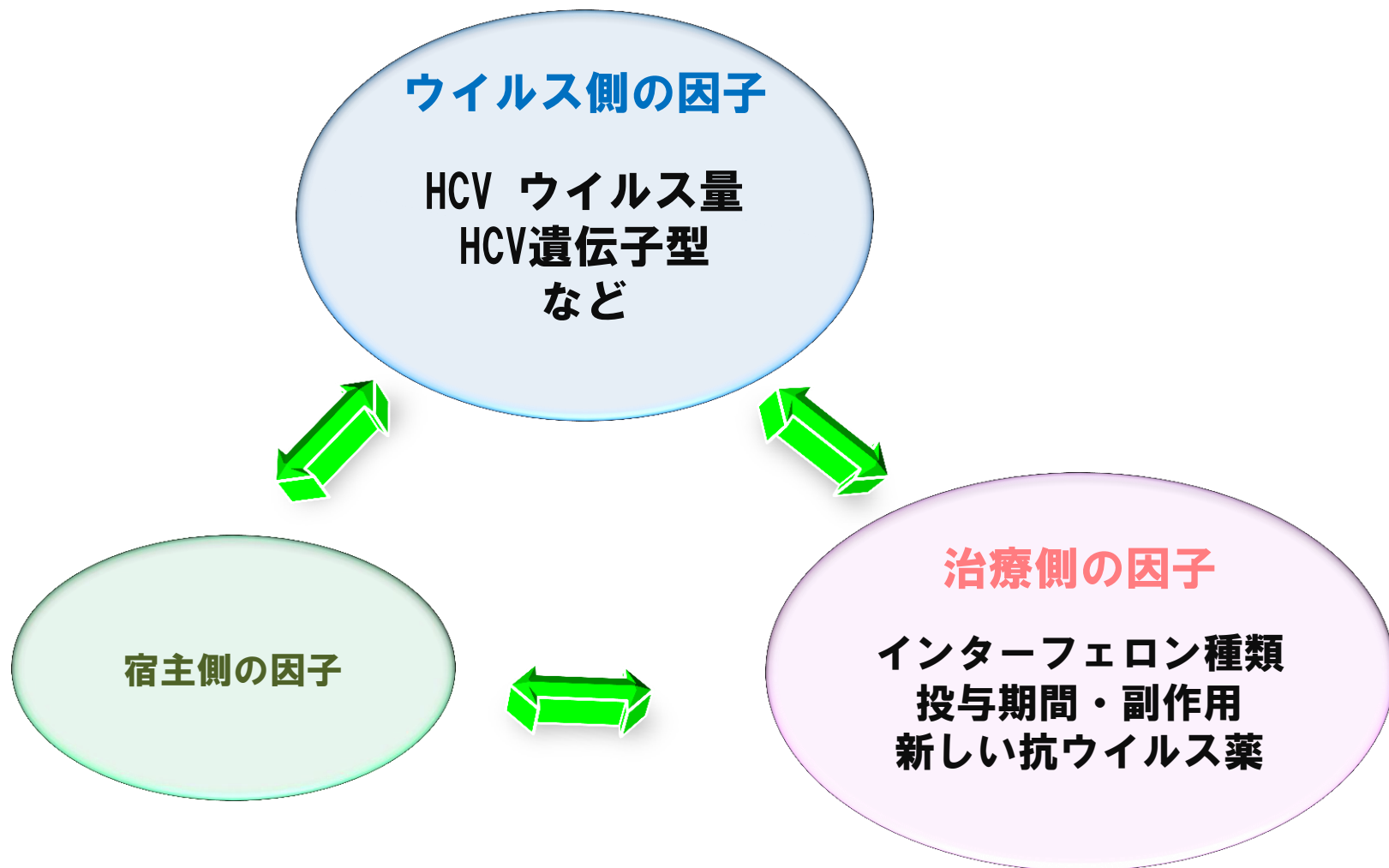
肝機能を改善して肝炎の悪化を防ぐ

- グリチルリチン配合剤(注射など)
- ウルソデオキシコール酸(内服)



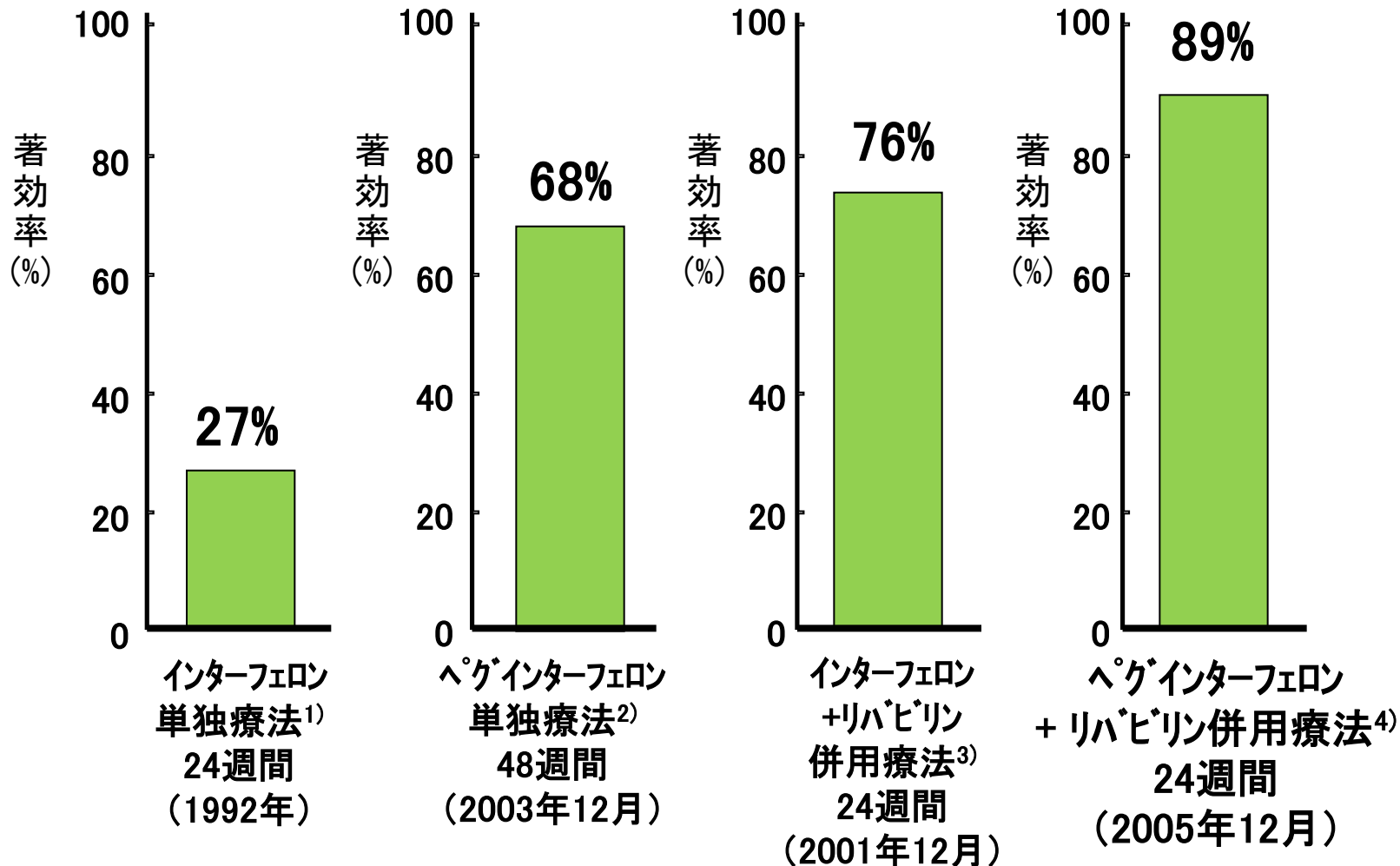
- 瀉血療法

C型肝炎の抗ウイルス療法に影響を及ぼす因子



インターフェロンの治療効果（非難治）

2型、1型低ウイルス量



1): イントロンA®添付文書(2010年10月改訂)

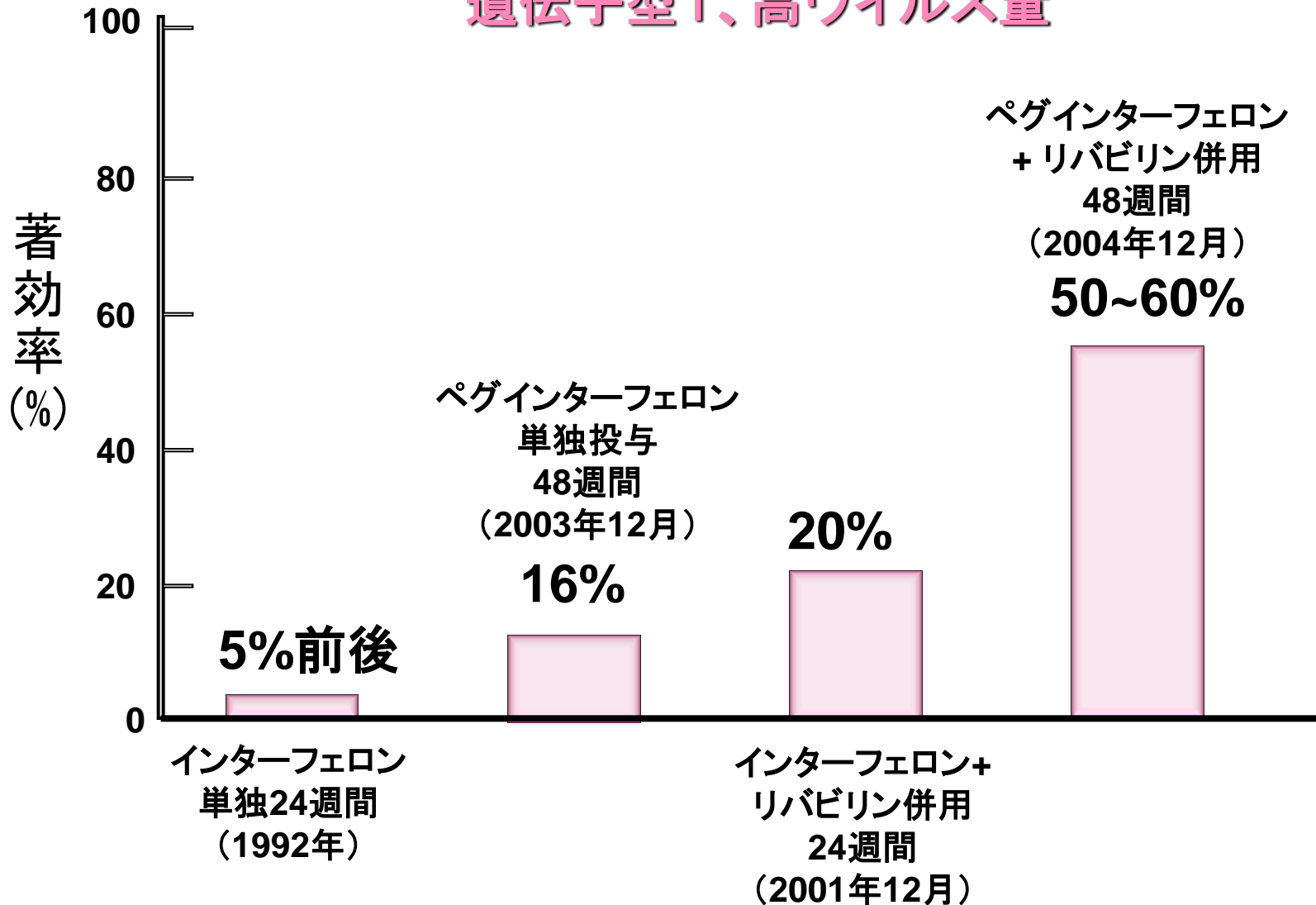
2): ペガシス®添付文書(2010年4月b改訂)

3): レベトール®添付文書(2010年10月改訂)

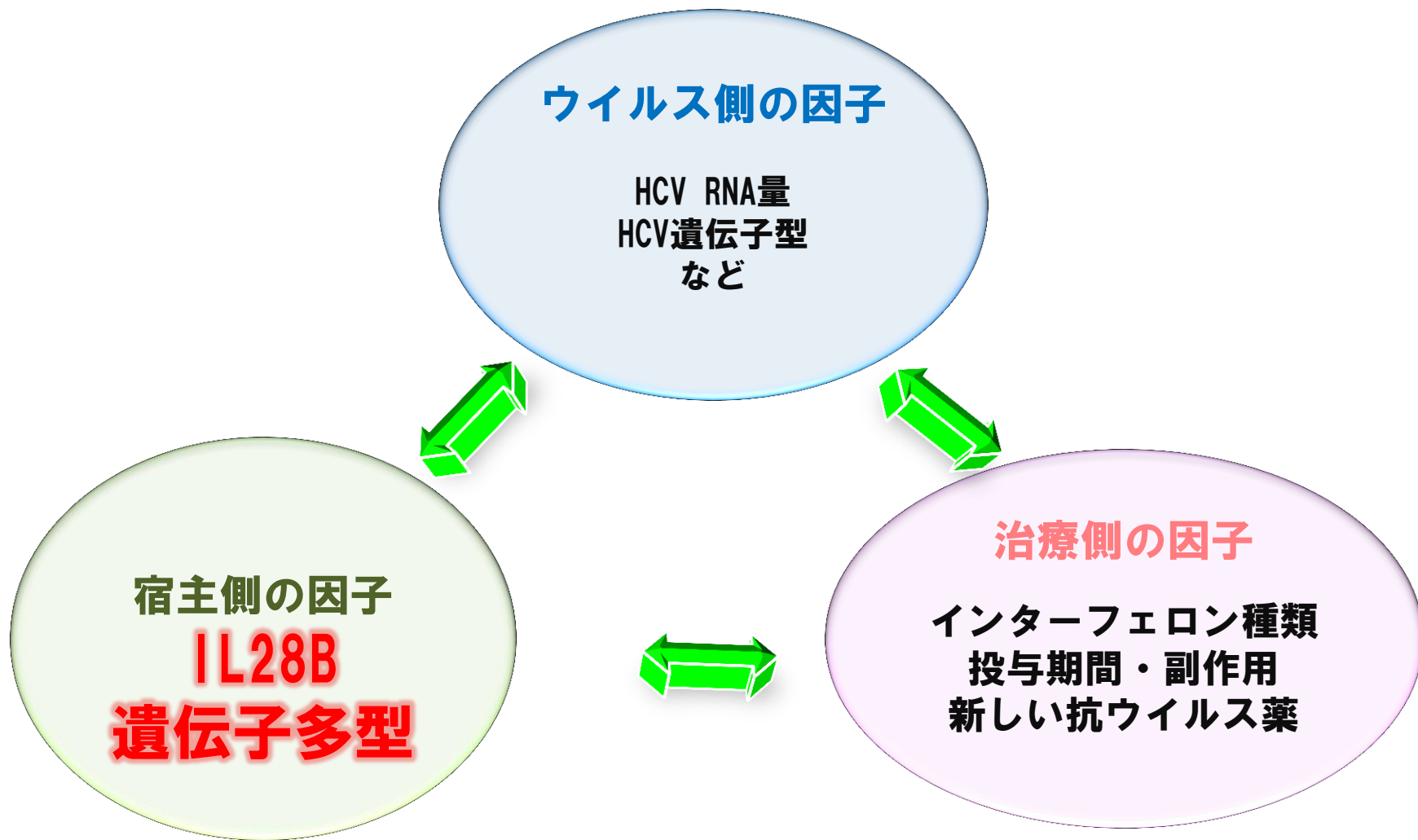
4): ペグイントロン®添付文書(2010年10月改訂)

インターフェロンの治療効果（難治）

遺伝子型1、高ウイルス量



C型肝炎の抗ウイルス療法に影響を及ぼす因子



遺伝子多型 (SNPs) とは

ある生物種集団のゲノム塩基配列中に一塩基が変異した多様性が見られ、その変異が集団内で1%以上の頻度で見られる時、これを一塩基多型 (SNP : Single Nucleotide Polymorphism) と呼ぶ。

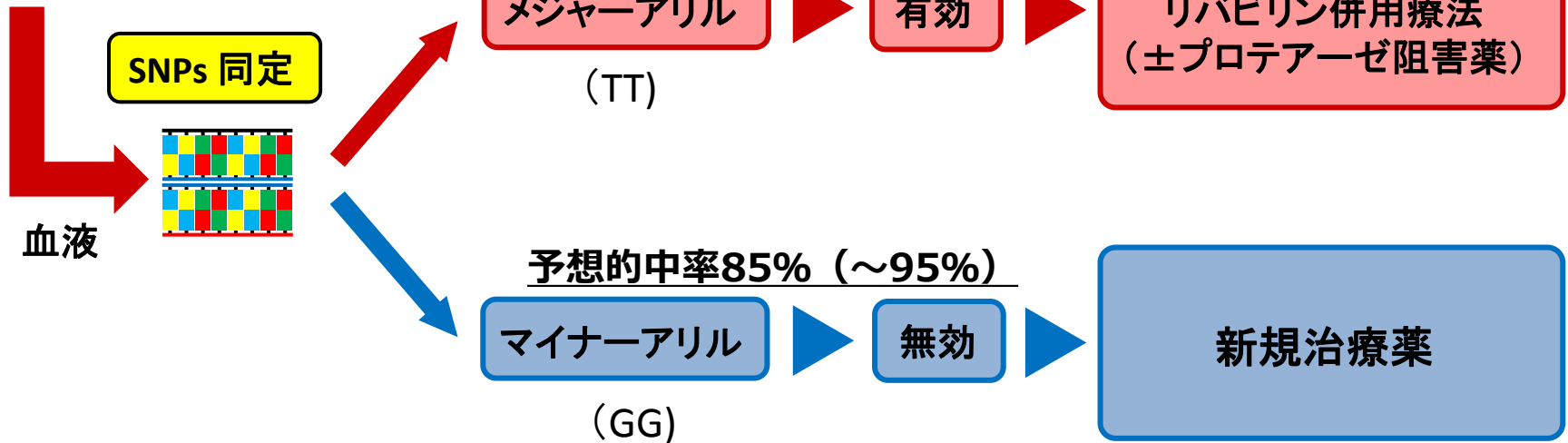
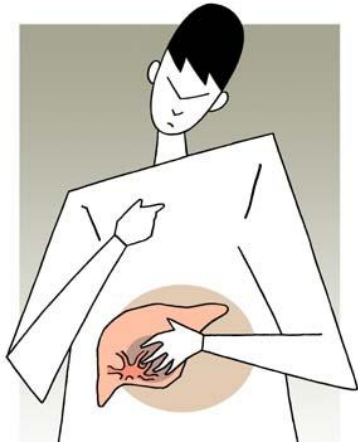


IMSUT-YN*K01-006

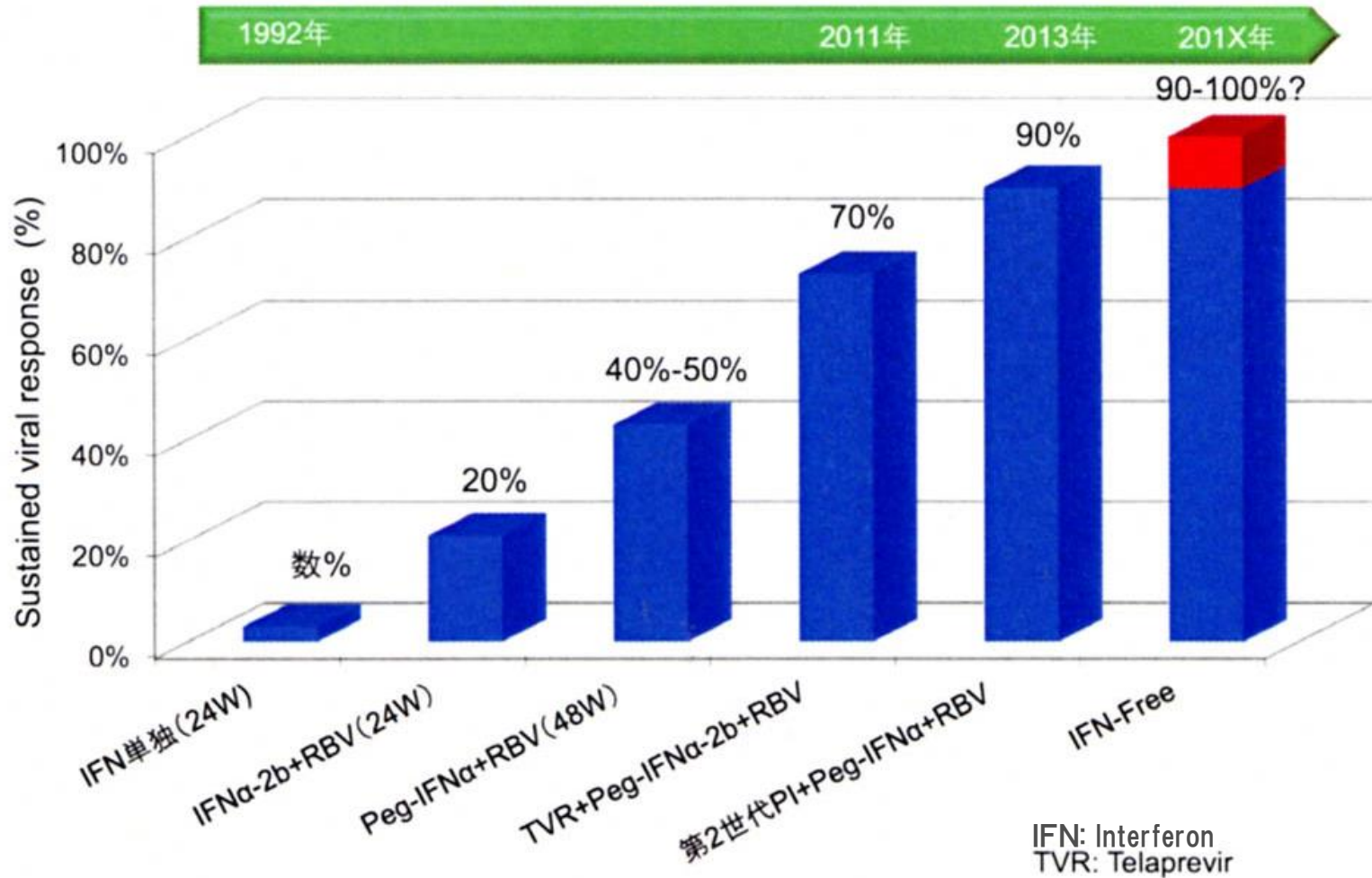


IMSUT-YN*K01-010

ペグインターフェロン+リバビリン併用療法 治療効果を規定する遺伝要因 ～IL28B(インターフェロンλ)領域遺伝子多型(SNPs)

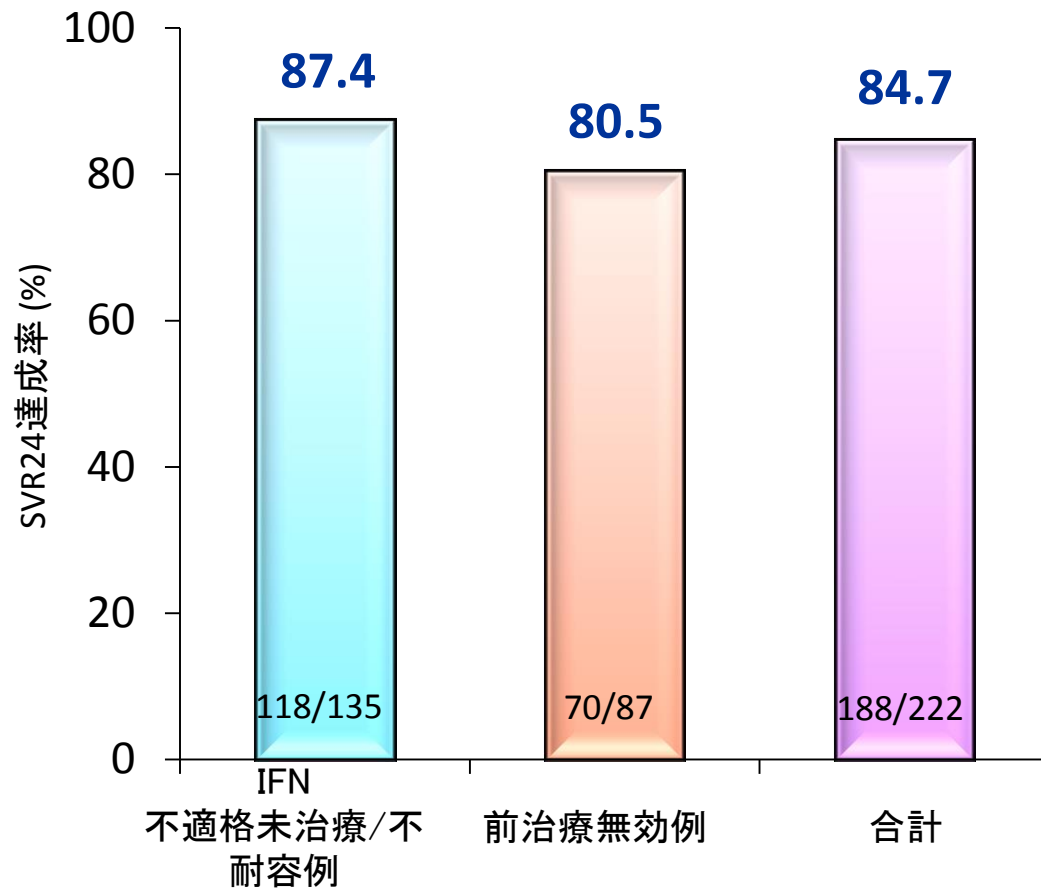


C型肝炎治療の変遷(難治型)

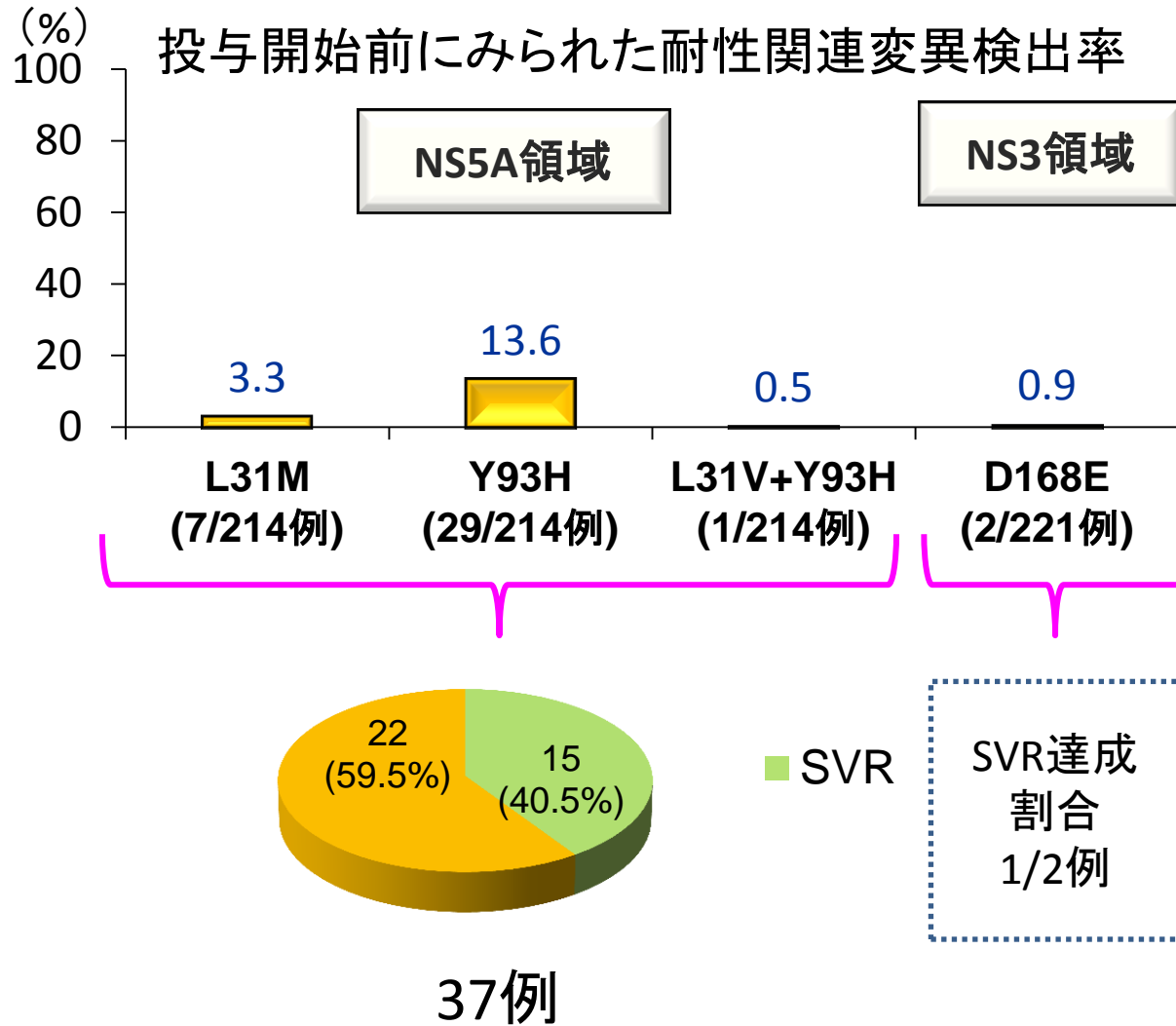


インターフェロンフリー内服2剤の 第Ⅲ相臨床試験における治療効果

アスナプレビル+ダクラタスビル内服24週治療成績



投与開始前にみられた 耐性関連変異に対するウイルス学的効果



これからの肝炎治療における留意点

治療薬剤の使いやすさ
(**IL28B遺伝子多型**、
DAA耐性遺伝子変異)

患者さんの背景
(高齢者、高血圧、
糖尿病、うつ、貧血等)



発癌の危険

新規薬剤の登場

検査方法および料金

- 検査方法： 血液検査
- 検査料金： 32,400円
- 開始日： 平成26年5月1日より